

学 期	学 習 項 目		学 習 内 容 ・ 方 法
1	歌唱    リズム  発声  読 譜 (I)	高校の音楽について 校歌指導 親しみのある曲の歌唱 詩と情景の想像  リズム感の自己認識  母音、子音の発声 腹式呼吸  調、階名、音名 (＃・♭) 歌唱テスト まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業形態、評価についての説明</li> <li>・ 校歌の由来と、そのもつ意味について説明</li> <li>・ 耳から学ぶ歌唱の楽しみ (聞き覚えのある曲)</li> <li>・ 詩の意味を理解し、情景を思い浮かべることの重要性を教える。</li> <li>・ 手拍子によるリズムの組み合わせの表現 (左手で3拍子、右手2拍子)</li> <li>・ 美しい声は正しい呼吸法と発声法から得られるが、より大切なことは歌唱自体を楽しむことであることを教える。</li> <li>・ 楽譜を読むことの必要性を理解させ徹底的に繰り返し教える</li> <li>・ 1学期の要約</li> </ul>
2	鑑賞  歌唱   創作   読譜 (II)	クラシックの名曲鑑賞 1学期の復唱 芸術歌曲歌唱  音色の知覚と創造  長調、短調、楽語  芸術歌曲読譜歌唱 歌唱テスト まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的な音楽の持つ不変的な美を最高の名演奏によって存分に味わう。</li> <li>・ 伝統的な音楽の持つ不変的な美を自ら演奏することによって存分に味わう。</li> <li>・ 曲相の違いによる奥行き表現を認識させ音楽の持つ精神との関連性を考えさせる。</li> <li>・ ボディパーカッションで様々な音色が作り出せることを知覚し、個性を活かした作品を創作させる。</li> <li>・ さまざまな国、民族、個人などの違いによる芸術歌曲を通して、音楽の持つ表現の可能性の大きさを認識させると共に自分の人生との共通性について考えさせる。</li> <li>・ 友達と自分との楽曲解釈の相違点を見出す</li> <li>・ 2学期の要約</li> </ul>
3	重唱  歌唱  読譜 (III)	楽典 (音程・近親調など)   キーボードアンサンブル発表 グループ歌唱発表 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンサンブルによりハーモニーの美しさに重厚さを加えた合唱の表現の可能性について考えさせる。</li> <li>・ 音楽を感覚的にとらえることは大切だが、それだけではなく論理的、科学的にとらえることもまた極めて大切であることを理解させる</li> <li>・ 次年度からの選択についての説明と注意</li> <li>・ 今までの成果を見る 今年度の総括</li> </ul>